

小学校 6年総合的な学習 授業実践報告

六砂小から平和を叫ぼう! 自分の生き方を見つめる

戦争や世界の子どもたちのことなど知り得たことをもとに、平和について訴える活動を取り入れた東京都江東区立第六砂町小学校6年担任の千葉一知先生の実践を紹介します。



戦争体験者の貴重なお話

活動のねらい

- 戦争体験者の話を聞き、自分の考えをもつ
- 世界の子どもの現状を知り、自分の考えをもつ
- 情報を収集しこれまでの学習と合わせて、平和について考えを出し合う
- 「六砂小から平和を叫ぼう!」について自分のアピールすることをまとめる
- 学習を振り返り、今後の自分の生き方について考えをまとめる

学習活動

- 「戦争」「平和」についてイメージすることを発表する
- 「戦争」を体験した人から話を聞く
- 興味をもったことや疑問に思ったことから課題を設定する
- 課題を追究する方法や発表会までの学習計画を立てる
- 戦災資料センターや図書館、インタビュー、資料などを活用して、課題を追究する
- 必要に応じてグループを組み、情報交換し協力して課題を追究する
- ビデオ「ユニセフと地球のともだち」の視聴や「水がめ」を持つ体験から世界の子どもたちの現状について知る
- 「子どもの権利条約」のおおよそを知り、「平和」について考える
- 「平和」について聞き手に分かりやすくまとめる
- 必要に応じてグループを組み、情報交換し協力してまとめる発表会をする
- 友達の発表から参考になることを考え、感想を出し合う
- 今後の自分の生き方について考えをまとめる



戦災資料センターにて

子どもたちは図書資料やインターネット、インタビューなどを活用して課題を深く追求していきます。中には難民や地雷に課題が広がる子も!



水がめは15kg…重い…。

「自分たちがいかに幸せな生活をしているかをあらためて実感した。」多くの子の感想です。課題が世界に広がっている子たちは「いいヒントになった!」と大喜び!

子どもたちの学習の取り組み・考え(例)

- 「身近な高齢者と積極的に関わり、戦争という悲惨な体験について話し合う
- 「戦争」という歴史的事実をしっかりと学習する
- 今回学んだことを下級生に伝えていくよう努める
- 今の生活がいかに幸せかを常に実感し、力強く生きていく
- 世界に目を向け、実態や支援状況などを学習する
- 最終的には今の自分に何ができるかを考え、小さなことでも実践していくことが大切であると考えている



平和集会で中間発表